



冬木木だより

2016
冬号
vol.19

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

侘助

侘助の
白花の
初咲きを
いただく
サイゴンの
華嚴寺から
おいでになった
白い世尊像に
供えまつる
ああ
冬生まれの
わたしの好きな
白い花

真民（72歳）



侘助

館長エッセイ

【第十九回】坂村真民にとっての「信仰」「宗教」とは
どの宗教も根本にあるものは同じ

真民詩とわたし

「先生と出会えて最高です!」

としの
俊野 フミ子 さん

真民詩を読み解く ⑱

深遠な意味をもつ言葉

「まなざし」

坂村真民記念館開館5周年記念特別展

「東日本大震災と坂村真民の詩

～鳥は飛ばねばならぬ

人は生きねばならぬ～」展

記念館からのお知らせ

日曜講座のご案内

記念館おすすめの本

【第十九回】坂村真民にとっての「信仰」「宗教」とは

どの宗教も根本にあるものは同じ

坂村真民が53歳から92歳までの間に書いた「思索日記」や「詩国」等から、真民は「信仰」や「宗教」についてどう考えていたのかを抽出してご紹介します。

◆「タンポポ堂日記」(昭和37年9月29日)

『どんな宗教でも本筋を行ったら、同じ処に辿りつけるということだった。キリスト教で行こうと、黒住教で行こうと、空也一遍の行き方であろうと、道元の行き方であろうと、親鸞法然の行き方であろうと、これは同じことだと思った。教祖といわれる人の人格がちがうから、こう別れてくるのだ。』

◆「詩記」(昭和40年7月12日)

『わたしは信仰はもつが無宗教無宗派である。しかし世尊の坐が好きだから世尊の坐の教えを守る。禅には心を寄せる。』

◆「詩記」(昭和40年8月18日)

『シヤカにもキリストにも、あまりとらわれるな。無宗派でよい。無教会で

よい。一番大切なことは人間としてどうあらねばならぬかということだ。わたしが最後まで守り通そうとする信仰は人間が人間を愛することだ。』

◆「詩記」(昭和49年10月16日)

『キリスト教は西洋医療、西洋薬剤のようなもので、重症者にはとき面に効く。しかしその反面副作用も恐ろしい。ところが仏教は漢方薬のように、てき面には効かないが、副作用は全くなく、体全体が治つてゆく。しかし時間がかかる。どちらがよいか。私は漢方薬を飲んできたから、漢方薬や漢方医療が好きであるが、仏教が好きなのも、やはり同じだと思う。』

◆「詩記」(昭和50年1月2日)

『仏の教えを蘇生させるために、わたしはキリストの力を借る。そのために聖書を読むのである。仏教とキリスト教とは対立するものではない。』

◆「詩国474号」(平成13年12月)

『「米同時多発テロ事件」を発端と

して開始された、このたびの大動乱は、宗教というものについて、いろいろ考えさせられた。端的に言えば、信仰は大事だけれど、宗教はもう要らないという考えを深くした。』

◆「川は海に向かって」「ナム・ホム(昭和59年12月)」

『仏教の坐とキリスト教の祈りとの違いをわたし流に言うてみるなら、坐は三十一文字の短歌や十七文字の俳句のように形式がある。ところが祈りは自由律詩のように形式がない。だから入り易いが難しい。』

『仏教も、キリスト教も、イスラム教も、その他の宗教も皆、実体は一つであり、異なった名前だけで言っているだけであつて、何も相争うことはないのである。そのことがはつきり体得できれば、もつと世界は美しく平和になるであろう。』

真民88歳の詩「信仰」では、神とか仏とか／いくら言つても／世の中はよ

くならない／一人一人が／本当の人間に／ならない限り／戦争も／なくなないし／平和も／やつてこない／信仰とは／本当の自己を作ること／自分を真の／人間にすることと書いています。

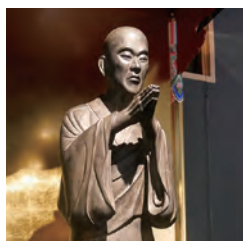
私の理解では、坂村真民は突き詰めて言えば、仏教もキリスト教もイスラム教も、その根本にあるものは同じであり、宗教の壁を越えた「全ての宗教の根本にあるもの」を信ずることが、「信仰」だと言っています。この考えに立たなければ、宗教戦争は無くならないのかもしれない。



▶マザーテレサ



▶聖フランシスコ



▶遍上人

「先生と出会えて最高です！」

としの
俊野 フミ子 さん(85歳)

偶然に真民詩と出会い、詩人の生きざまに感銘を受けた俊野フミ子さんは、表具師のご主人・清さんとともに坂村夫妻を敬愛し、ざっくばらんな交流を続けた。人生の恩人に深い感謝の念を捧げるため、今も毎晩の勤行を欠かさない。



▲俊野表具店(松山市南江戸)に
昭和63年に建立された69番碑



◆「詩国」に衝撃を受ける

昭和58年、知人から渡された「詩国」に何気なく目を通した時、「この人はただ者ではない」と、体に電気が走りましたね。人生の神髄を突いた言葉に打たれたんです。

先生の生き方をお手本にしたいと痛切に思った私は、すぐにお手紙を書いて、理正院で行われていたツクサの会に参加しました。当初は私の送迎役だった夫も、会が終わって興奮気味に語る私の話に興味を示し、一緒に参加するようになりました。それからは私より熱心な真民ファンとなり、うちの小さな車で、先生のご要望に応じて、ご夫妻をあちらこちらへお連れしました。

◆多くの真民詩を額装や表装に

俊野表具店は昭和初期に義父が創業し、夫は二代目です。仕事の合間を縫って作った畳紙で色紙を包んで先生にお渡しすると、たいそう喜ばれ

ました。

そのうち、詩の表装や額装を先生から依頼されるようになりました。表装は使う材料によつて値段もピンキリです。先生は「私は普通の人間ですから、普通のもので結構」とおっしゃった。そんなところにも、謙虚で清廉なお人柄がうかがえました。ずいぶん多く、仕事をさせていただきました。

◆「群れに入るな」

先生は人をわけへだてせず、とても優しい方ですが、凛とした厳しさを持っていました。見えないところで人を支える足の裏のような人間になささいという教えは、私の心の深いところで息づいています。そして「群れに入るな」とも言われました。人と群れると、自己を見失うからです。それから人は人になることがなくなり、困っている人の力になるよう努めてきました。

我欲にとらわれがちな「普通のおばさん」だった私の人生を、先生は大きく変えてくださったんです。

◆欠かさぬ勤行

最後の入院時、「病気の顔は見せたくないから、見舞いには来てくれるな」と先生に厳命され、忠実に守りま



▲俊野さん宅でも講話会を数度開催した



▶20年ほど前、前神寺に参詣した真民さんと俊野夫妻

した。それでも、ご逝去の直後に真美子さんから連絡をいただき、急いでかけつけて、末期の水をとらせていただきました。あの時ほど大泣きしたことは後にも先にもありません。

毎晩の勤行で、先生と久代夫人のお名前を唱えて、感謝の念と祈りを捧げています。先生にお会いできたことが、私の人生で最高の出来事です。

深遠な意味をもつ言葉

「まなざし」



まなざし

差別の

まなざしを

まったく

しなかった

三人の

偉大な人

ブツダシヤカ

イエスキリスト

それに

マザーテレサ

それゆえに

わたしは

合掌し

礼拝し

敬慕する

「坂村真民本人のまなざし」は、生きとし生けるもののやさしさと愛情あふれるまなざしです。しかし、自分自身を見つめるまなざしは、いつも厳しいものだったと思います。

坂村真民の詩に、「まなざし」という言葉が初めて出てくるのが78歳の時に作ったこの詩です。

シヤカとキリストに加えてマザー・テレサが出てくるのは、72歳の時に初めてマザー・テレサを知り、その生き方にすっかり魅せられてしまい、現代に生きる一遍(基本的)にこの3人と同じ「まなざし」を持つ人と考えていた)であり、現代のイエスキリストであるを敬拝していたからだと思います。

その後90歳の年に「千年

のまなざし」という本を出版し、その「まえがき」の中で、「わたしは1998年5月に、熊本で、全国朴の大会が開催された時、「千年のまなざしと氣海丹田」と題して、講演をしたが、これはこれからの地球人すべてが、この母なる星を平和と幸福のため、守り抜いてゆく心の転換を求める国になつてもらいたい。そうした使命を持つて造られたのが、この日本という国であり、民族であるということをお話したのであった。

これは詩人として当然のことである。また難しいことではない。ただその心を、そのまなざしを変えればいいのである。だが、それがいかに難しいか。それは今日までの歴史が証明している。でも、わたしは詩を書き続けてゆく。それが「千年のまなざし」である。」と書いています。

そして、91歳になると、「宇宙のまなざし」という詩集を出版し、その「あとがき」では、「81歳の時に、宮崎県の高千穂神社と阿蘇の幣立神宮にお参りして、「大宇宙大和楽」という真言をいただき、日本国と日本民族が、宇宙の中で、何を為すべきかの使命を知らされたのでした。宇宙には

対立もなく、差別もなく、すべてが平等です。この心を一番持っているのが、日本民族です。どうか一人でも多くの人が、宇宙の心を知り、宇宙への祈りを捧げるようになってもらいたいと思います。どうか、「宇宙のまなざし」を持つ人が、一人でも多くなつて、母なる星地球を、平和で幸福な星とするよう、祈り願つてやみません。」と書いています。

これらの詩や文章の中で真民が使っている「まなざし」とは、その人の見る眼、その人の生き方、その人の志、という意味で使っています。どうか皆さんも、自分の「まなざし」をしっかりと持つて、生きてください。

真民が「まなざし」をどう使い分けているか、簡単にまとめてみました。

◇「宇宙のまなざしとは」

宇宙の念願は、「大宇宙大和楽」であり、「宇宙のまなざし」を持つとは、無差別・平等の平和な世界をつくることに努力する人間のまなざし。

◇「千年のまなざしとは」

生きとし生けるものが、皆幸せになるよう、にと努力する人間のまなざし。

◇「万年のまなざしとは」

仏さま、菩薩さまのまなざし。

「東日本大震災と坂村真民の詩 ～鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ～」展

期間

平成29年 3月4日(土)～6月11日(日)

被災地の復興状況を知り、寄り添うために

坂村真民記念館は、2012年3月11日という特別な日にオープンしました。

それは、この記念館が東日本大震災で被災された皆さんと一緒に、皆さんの気持ちに寄り添って、新たな道を共に歩き出したいと願ったからです。

大震災より6年を迎える今年は、震災により亡くなった方々の7回忌にも当たります。坂村真民記念館では、開館5周年記念特別展として、愛媛新聞社と共同で、東日本大震災の記憶を風化させることなく、これからも人々の記憶にしっかりと留めてもらうことを願って、「東日本大震災と坂村真民の詩～鳥は飛ばねばならぬ、人は生きねばならぬ～」展を開催いたします。

東日本大震災とその後の被災地の復興状況の記録写真を中心とした岩手日報社の報道写真を展

示し、被災地の今を生きる人々の現状を見ていただきたいと思います。

そして、被災者の方々に寄り添い、悲しみとともに悲しみ、困難を乗り越え、前に向かって生きる人へ「生きることの大切さ」を詠った坂村真民の詩を展示することとしております。

特に今回は、この特別展の趣旨に賛同していただいた、臨済宗円覚寺派管長の横田南嶺老師の揮毫による、被災者への鎮魂と哀別を詠った「真民詩」11点を特別展示します。

多くの皆様がこの特別展をご覧になり、東日本大震災の記憶を呼び戻し、震災後の貴重な体験を生かして、新たな時代に向かって生きてゆくことを考えていただければと思います。どうぞ、多くの方々のご来館を心からお待ちしております。





真民さんの詩や随筆と一緒に読みませんか！

日曜講座のご案内



毎月第3日曜日に一般の方を対象としました日曜講座（一般）を開設しております。本講座は各1回で完結する講座です。坂村真民について興味をお持ちの方ならどなたでもお気軽にご参加いただけます。

真民詩集または真民の随筆集を順番に採りあげ、その中から5～6篇の詩または4～10小節を選び、その意味と背景について館長が分かりやすく解説します。参加者の皆様と意見や感想を交換しながら詩について、真民さんについて知っていただくための講座です。

6月からは、随筆集「愛のみちるべ」を採りあげ、毎回15～20ページずつ読んでいます。どうぞ、お気軽に参加して、真民の生きてきた足跡と一緒に辿ってみませんか。

開催日程 〈28年度〉
12月18日、29年1月は休み、
2月19日、3月19日

時間 10時30分～12時 **募集人数** 20名

お申し込み方法

日曜講座の受講を希望される方は、お電話またはFAXで以下の項目を、受講日の1週間前までにご連絡して下さい。

〈必要事項〉

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④受講を希望する講座名
⑤受講を希望する日 ⑥年齢 ⑦性別

〈電 話〉089-969-3643

〈FAX〉089-969-3644

記念館おすすめの本

坂村真民をもっと知るための読書案内

書 名	著 者	発 行 所	定 価
坂村真民記念館公式ガイドブック ☆	坂村真民記念館	えひめリビング新聞社	1,000円
さかむらしんみんさんの風光 ※	岩野喜久代	仏教タイムス社	1,500円
現代の覚者たち ☆（一般書店販売中）	致知出版編	致知出版社	1,200円
生きるのが下手な人へ ※	紀野一義	光文社	650円
白鳥の歌びとー坂村真民 ※	紀野一義	柏樹社	1,650円
銀の匙（一般書店販売中）	中勘助	岩波文庫	1,000円
打たれて人は、成長する ※	PHP編	PHP研究所	1,130円
プラス思考がその人を強くする ※	斎藤茂太	大和書房	1,400円
坂村真民碑紀行 ※	角 响	大東出版社	1,690円
坂村真民講話集「念ずれば花ひらく」 「朴庵例会での講話集—CD」	ユーキャン編	ユーキャンの通信販売で 購入できます	24,800円
詩国の人（朝鮮時代の教え子による 真民の思い出） ☆	水上良介	喜怒哀楽書房	2,300円
一道を行く ☆（一般書店販売中）	致知出版編	致知出版社	1,238円
清貧の生き方 ※	中野孝次編	筑摩書房	1,300円
心の薬 ※	杉本省邦	近代文芸社	1,800円
二度とない人生だから今日一日は笑顔で いよう ☆（一般書店販売中）	横田南嶺	PHP研究所	1,200円
詩集・家族の絆 ☆（記念館限定版）	坂村真民	坂村真民記念館	350円

☆のついた著書は、記念館で購入できます。

※のついた著書は、現在絶版になっていますが、アマゾン等のインターネット書店では購入できます。

または、図書館等でご覧になってください。

坂村真民記念館を応援しています



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『木は氣なり』

百年の木には百年の氣が宿り

千年の木には千年の氣が宿る

鳩寿四 真民詩

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp> メール kao@nagiso.co.jp

砥部の地で、医療、看護、介護の三位一体を実現する砥部病院



介護付有料老人ホーム To-be

78居室/20㎡～24㎡(1F&2F)

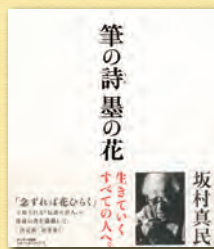


住宅型有料老人ホーム
モンレーヴ砥部

18居室/2LDK 40㎡～90㎡(3F)

伊予郡砥部町麻生51-1(砥部病院横) TEL.089-969-0085 砥部病院ケアサービス株式会社

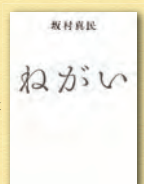
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!



定価=本体3500円+税

筆の詩墨の花

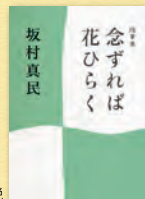
サンマーク出版



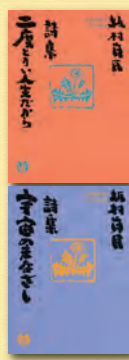
随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいのふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定価=本体各1800円+税

坂村真民の本



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



定価=本体各1000円+税



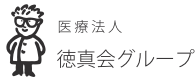
刊行から18年、
10万部突破の
超ロングセラー!

詩集 念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

いま届けたい、生き方の道しるべ



医療法人 徳真会グループ

TOKUSHINKAI QUARTZ TOWER 総合メディカルクリニック 徳真会クォーツタワー

徳真会グループは、36年の歴史をもつ国内最大の歯科グループ。
拠点の一つ、東京都渋谷区の徳真会クォーツタワーには最先端治療が行える歯科診療所に加え国内屈指の技術力を誇る歯科技工部門「ワールドラボ」を併設。
また同ビルの中の歯科と内科との連携により患者さまが安心して総合的で高レベルな治療を受けることができます。

歯科の特長 **DENTAL & MEDICAL** 内科の特長



- 他に類を見ない高レベルな「消毒滅菌システム」
- 「専属の歯科技工部門」が高品質の治療を支える
- 日本トップクラスの専門医が「あらゆる症例に対応」
- 情報開示を徹底した明朗会計で「安心の適正価格」



- 頭痛の権威、東京女子医大名誉教授(神経内科) 岩田誠先生の「頭痛外来」**A**
- ハーバード・パリ大学、根来秀行教授による時計遺伝子睡眠医学など先端の「アンチエイジング医学」**B**
- あなたは大丈夫? 「睡眠時無呼吸症候群」の検査・治療



総合受付 **03-6362-6688**

歯科 9:00 ~ 21:00 (年中無休)

内科 10:00 ~ 14:00 / 15:00 ~ 19:00



徳真会クォーツタワー



www.quartztower.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-10-10
徳真会 QUARTZ TOWER

〈フロアガイド〉

1.2F ピーシーデポ
スマートライフ青山店
03-5778-4671

4.5F 青山クォーツデンタルクリニック
03-6362-6688

3F クォーツホワイトデンタルクリニック
(オールケア・エステ・ホワイトニング)
03-6362-6683

7F クォーツデンタルクリニック
03-6362-6688

3F クォーツビューティ ネイル
03-6362-6693

8F クォーツメディカルクリニック
(内科、整形外科、皮膚科、頭痛外来)
03-6362-6680

3F 整体院 癒庵堂
クォーツタワー店
03-3486-1900

9-12F クォーツギャラリー
03-6362-6691

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 **特典** 会員証で入館無料1人 ほか
年会費2000円

一般会員 **特典** 会員証で入館無料1人 ほか
年会費5000円

特別会員 **特典** 会員証で入館無料2人 ほか
年会費10,000円

法人会員 **特典** 会員証で入館無料2人、
観覧券10枚贈呈 ほか
年会費10,000円

詳しくはホームページをご覧ください

坂村真民記念館 友の会

検索

〔編集後記〕 記念館の友の会の会費は、この会報の発行費用として、また町の予算では購入が難しい、記念館の運営に必要な資材や図書の購入に充てさせていただいているのですが、当初の会員数から減少傾向にあり、苦勞しています。是非とも、皆さんの周りの方々に声掛けをさせていただいて、友の会の会員の増加にご協力していただければ幸いです。どうぞよろしく願いたします。(西)

タンポポダより vol.19 冬号

平成28年12月1日発行

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内

TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、
小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり